

第1回 四街道市部活動地域移行推進協議会 概要

日時：令和5年10月25日（水）

15時から

場所：四街道市文化センター 206号室

1. 開会
 - ・委嘱状交付
 - ・教育長挨拶
 - ・委員紹介
2. 会長・副会長の選任
3. 議事録署名人の選出
4. 協議事項
 - (1) 四街道市部活動地域移行推進協議会について
 - (2) 部活動地域移行における国・県の動き
 - (3) 四街道市の動向
5. その他
6. 閉会

第1回 四街道市部活動地域移行推進協議会 議事録概要

日程 令和5年10月25日(水) 午後15時～16時30分

場所 四街道市文化センター 206号室

出席者	四街道市教育委員会教育長	府川 雅司
学識経験者		小宮山 伴与志
中学校校長代表		小川 大輔
中学校校長代表		中嶋 宣雅
市教育研究会体育研究部長		小林 聡
部活動顧問教諭代表		猪谷 龍哉
部活動顧問教諭代表		安藤 優樹
四街道市立小中学校保護者代表		本多 正樹
四街道市立小中学校保護者代表		時田 由泉
スポーツ団体関係者		伊東 秀郎
スポーツ団体関係者		若林 修
文化芸術団体関係者		貝瀬 永治
文化芸術団体関係者		片山 文
四街道市教育委員会教育部長		石川 智彦
四街道市教育委員会教育部副参事		真田 裕之
四街道市教育委員会教育部教育総務課長		久保木 直樹
四街道市教育委員会教育部学務課長		飯村 典秀
四街道市教育委員会教育部指導課長		伊藤 友江
四街道市教育委員会教育部社会教育課長		荒木 寿久

傍聴人 なし

4. 協議事項

(1) 四街道市部活動地域移行推進協議会について

→質問なし

(2) 部活動地域移行における国・県の動き

→貝瀬委員：令和5年度は実証的に1部活動の地域移行を目指すとなっておりますが、本市では既に取り組んでいるのでしょうか。

事務局：現状、本市ではまだ、実際に部活動の地域移行はできておりません。下半期も、具体的に移行する予定はありません。この協議会で、どのような形で取り組むかを決めてから実証的に取り組みたいと考えています。

(3) 四街道市の動向

本多委員：経費は、教育委員会で負担と記載していますが、保護者の負担はなしと考えてよろしいのでしょうか。

事務局：現在配置している部活動指導員の経費については市教育委員会で負担していますので、保護者の負担はありません。

本多委員：今後、全校かつ全ての部活で部活動指導員による指導を行った場合、その経費も市教育委員会の予算で賄えるのでしょうか。

事務局：現在の市教育委員会の予算では、全ての部活動に指導員を配置することはできません。今年度は、15名分の部活動指導員を配置できるような予算を確保しています。

本多委員：部活動の地域移行というのは、四街道市内全ての中学校が対象で、全ての部活動が対象ということでお間違いないでしょうか。また、それが実現した場合でも現在と同じく経費は市教育委員会で賄っていただけるのかを伺います。

事務局：現在の市の予算と、国の補助金だけでは賄いきれません。そのため、地域移行を進めるにあたっては、保護者からの負担を考えています。

本多委員：経費を負担できない家庭は部活動に参加することができなくなるのでしょうか。子どもたちの才能を潰してしまう可能性があると思います。

事務局：保護者負担の関係は、国や県のガイドラインでも低所得者に対しては、何かしらの救助措置を設けるべきだと指針が出されています。そのため、まだ正式には決まっておりませんが、四街道もそれらの考えを踏まえたうえで、部活動の地域移行の形を作っていくべきだと考えています。

本多委員：学校の部活動ではなく地域クラブチームでの活動となった場合に、備品の購入費等追加で必要となる経費はないと認識してよいのかを伺います。

事務局：現状では、まだ方針も定まっていませんので、ご負担がありませんと明言することはできません。ただ、極力、子どもたちが好きなことを休日に活動できるような環境は提示したいと考えています。

石川委員：それについては、ここにいる全員が考えていくことであり、事務局だけが考えることではないと思います。現状、保護者の費用負担が発生していないことについては、教員が時間外の労働を無償で行っているために成立しているのだと、改めて立ち返る必要があると思います。本来は膨大なお金が発生しているはずがそうになっていないのは、ひとえに教員の善意に基づいてここまで部活が行われてきたということです。しかしながら、いろいろな変化、変容の中で限界に達しているから、ここを今一度見直していく必要があるということでこの場が設けられているのだと思います。学校に今あるものをどう移行していくかという考え方もありますが、全く新しいものを作るという考え方も持っていないかと、恐らくどこかで限界に達するのではないかと思います。

時田委員：部活動の地域移行について、今現在で既に地域移行を行っている県や市はあるのでしょうか。もしあるなら、どのように行っているのか併せて伺います。

事務局：数を提示することはできませんが、千葉県内で既に地域移行に取り組んでいる自治体を何件か把握しておりますのでご紹介します。一番進んでいるのは柏市です。はじめはモデル事業という形で部活動を何種類か選んで、各校地域移行に取り組みました。令和3年度からそのような動きを始めております。初めは1学校1部活動であったのが、2年目はさらに学校数を広げて、徐々にモデル事業の種目や学校数を増やす形で進めています。

その他、近隣だと佐倉市が挙げられます。今年度、本市よりも先に立ち上げました。また、9月からは、臼井中学校の陸上部に民間企業のご協力をいただき、地域移行のモデル事業を始めたと伺っています。全体で進んでいるというよりは、各市町村がそれぞれの実情に合わせ、モデル事業という形で少しずつ進めているというケースが多いです。

時田委員：既にモデル事業として始まっているところについて、費用負担はどのようになっているのかをお伺いします。現在の四街道市の部活動では受益者負担があるというのは聞きませんので、指導者を集め方や、報酬の支払い方をお聞きしたいと思います。次回の会議までにお答えください。

事務局：分かりました。

本多委員：土日に働くのが問題なら、土日に出た分平日を休めば良いのではないのでしょうか。例えば土曜日の午前を見て、午後は残っている事務作業を行って、代わりに平日を1日休めば帳尻は合うのではないのでしょうか。

小川委員：中学校は29時間授業があり、それぞれの教科担任が割り振って行います。土日に部活を行ったからといって代休を取られてしまうと授業が回らなくなります。

本多委員：それは教員の数が増えれば解決するのではないのでしょうか。

小川委員：仰せのとおりですが、現状では教員の数は限られておりますので、難しいと思います。

5. その他

6. 閉会